

戸 田 市 教 育 委 員 会 会 議 録			
招 集 期 日	平 成 2 7 年 1 2 月 1 7 日 (木)		
場 所	戸 田 市 役 所 教 育 委 員 室		
開 会	1 2 月 1 7 日 午 後 4 時 0 0 分		
閉 会	1 2 月 1 7 日 午 後 5 時 1 0 分		
教 育 長	戸 ヶ 崎 勤		
教 育 長 ・ 委 員 出 席 状 況	戸 ヶ 崎 勤	出 席	
	仙 波 憲 一	出 席	
	吉 田 辰 行	出 席	
	鈴 木 晃	出 席	
	土 肥 美 奈 子	出 席	
説 明 員	中川教育部長、鈴木次長、西袋次長、熊谷副参事、		
	栗津教育総務課長、星野学務課長、山根指導課長、		
	津田生涯学習課長、生涯学習課大山課長、教育総務課 諏訪村主幹		
書 記	教育総務課総務担当 山本主任		
傍 聴 人	3 人		

会議の経過及び結果

教育長

教育委員提案資料④、9ページを御覧いただきながらお聞きください。

今年度になって教育界では急に認知されてきたことですが、「子供たちの65%は将来、今は存在していない職業に就くとの予測や、今後10年～20年程度で、半数近くの仕事が自動化される可能性が高い」などの予測があると言います。また、2045年には人工知能が人類を越える「シンギュラリティ」に到達するという指摘もあります。

これらは、アメリカを中心とした研究結果ですが、つい今月のはじめに、10年～20年以内に日本で働く人の仕事の49%は人工知能(AI)やロボットで代替できるようになる、という野村総研の分析研究が発表されたのは御案内のとおりです。その可能性が低いのは、教員などです。一方でその可能性が高いのは、市役所の職員などです。

この研究結果において、抽象的な概念を整理・創出するための知識が要求される職業、他者との協調や、他者の理解、説得(ネゴシエーション)、サービス志向性が求められる職業は、人工知能等での代替は難しい傾向があると言います。

一方、必ずしも免許等で特別の知識・スキルが求められない職業に加え、データの分析や秩序的・体系的操作が求められる職業については、人工知能等で代替できる可能性が高い傾向が確認できたそうです。

仕事の多くは機械に任せて労働力を補う。人はより独創的な役目を担う。何となくバラ色の世界にも思えますが、個人的な見解として、そう単純にはいかないと思います。機器を扱う人の能力が退化するかもしれません。また、人工知能を含め機器類は、故障のリスクもあります。

現在、OECDでは、日本との共同プロジェクトの成果を核としながら多くの国を巻き込み、2030年に向けた教育の在り方を議論する枠組みとして、「Education 2030」を推進しています。

その中で、様々な「学びの改革」が議論されておりますが、目指して

	<p>いるのは、変化の激しいダイバーシティ社会の中で、いわゆる「仕事ができる有能な人」がもっている能力であると考えています。これは、学校の勉強ができる人とはイコールではなく、「非認知スキル」や「ソフトスキル」も高い人です。</p> <p>「学びの改革」を進める民間のスピードは教育行政とは段違いです。教育とテクノロジーを融合させ、新しいイノベーションを起こそうと多くの企業が躍起になっています。</p> <p>現在、本市教育委員会では、これら民間企業をはじめ大学、研究機関などと積極的な連携を開始しましたが、その際留意すべきは、教育委員会や学校がその研究やサービスの「受益者」や「消費者」に成り下がることです。民間等との「協働者」や「活用者」になり、主体的に自己の問題を解決する意志や知見をもつ必要があると考えています。</p> <p>私の夢としては、「Education 2030」に戸田市の教育が打って出ることを目指したいと考えています。そして、何より、とだっ子には、AIでの代替は難しい、いわゆる「21世紀型スキル」を身に付け、人生の成功や幸せを得てほしいと強く願っています。</p>
教育長	<p>それでは、ただ今から、平成27年第12回戸田市教育委員会定例会を開会いたします。</p> <p>初めに、前回の会議録の承認ですが、事前に会議録の内容を見ていただいておりますので、御異議がないようでしたら承認ということでよろしいでしょうか。</p>
各委員	了承
教育長	それでは、会議録に御署名をお願いします。
各委員	署名
教育長	次に、秘密会となる案件についてですが、本日は全ての案件を公開で行います。秘密会となる案件はございません。

<p>教 育 長</p>	<p>はじめに、「教育委員提案について」御報告いたします。先月の教育委員会で委員より御質問のあった件について報告がございます。</p> <p>① 教員の資質向上について</p> <p>② 教員の多忙化対策について</p> <p>③ 学力向上に向けたその後の新しい取組について</p> <p>④ 知のリソースの活用について</p> <p>詳細につきまして、各所属長より報告いたします。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>①教員の資質向上について報告します。</p> <p>現在、本市では「生き生きと 共に育む 教育のまち 戸田」という基本理念のもと、平成28年度からスタートする第3次戸田市教育振興計画の策定を進めております。</p> <p>計画の策定に当たり、キャッチフレーズ、基本目標、目指す児童生徒像を資料のとおり定めています。この「とだっ子像」に定めた児童生徒の育成に当たり、児童生徒を直接指導する一人一人の教員の力が極めて重要であることはいまでもありません。</p> <p>そこで、戸田市として教員に求める資質能力について、平成24年8月に中央教育審議会答申で示された「学び続ける教員像」を踏まえ、資料のとおり整理いたしました。</p> <p>太文字で示された3点は、中教審答申で示された「学び続ける教員像」です。</p> <p>一つ目は、教職に対する責任感、探究力、教職生活全体を通じて自主的に学び続ける力を踏まえ、児童生徒に対する深い教育的愛情をもち、児童生徒を成長させる教師、専門家としての自覚と、常に学び続ける向上心を持つ教師です。</p> <p>二つ目は、専門職としての高度な知識・技能を踏まえ、新たな課題に対応できる教師、新たな学びに対応できる教師、教科指導、生徒指導、</p>

学級経営を的確に実践できる教師です。

三つ目は、総合的な人間力を踏まえ、豊かな人間性や社会性、コミュニケーション力を持ち、チームで対応する教師、地域社会と連携・協働できる教師です。

また、一番下の四角で示した部分は、教育長が校長会、教頭会で管理職に対して伝えた話から抜粋した言葉です。三つ目にある「優秀であるだけでなく、魅力ある教員」という言葉は、夏休みに教育長が今年度採用の教員に対して贈った言葉です。

戸田市は、今現在はまだこのような資質・能力にやや不十分な部分があっても、児童生徒を着実に成長させようと自己研鑽に励み、学び続ける教員を求めています。

このような、専門職としての高度な知識・技能を教員が身に付けるために、指導課では研修や授業研究の実施をすすめております。

まず資料2ページを御覧ください。ここでは、戸田市小・中学校教科等研究部会における授業研究の計画について、「授業研究を毎年必修で実施」する教科等として、①国語～⑫特別活動の12教科等があります。また、小中一貫教育の視点により統合を図り、授業研究を実施しているのが、小学校家庭と中学校技術・家庭です。

さらに、授業研究を3年に1度実施するのが、①書写～⑦学校食育部会及び⑨特別支援教育担当者連絡会、戸田と蕨のローテーションで行う関係で3年に2度実施するのが⑧進路指導・キャリア教育です。

実際の授業や児童生徒の姿を見て行う授業研究は、教員の資質向上に大きく影響を及ぼすものとしてとらえております。

次に、資料3ページ～4ページを御覧ください。今年度指導課が行っている教職員専門研修一覧ですが、「専門職としての高度な知識・技能」として、新たな課題に対応できる教師を目指すための「グローバル化、英語教育」としての視点における研修は、資料4ページの「小学校英語

	<p>活動指導法研修会」、「中学校英語担当教員指導法研修会」です。</p> <p>次に、「情報化」としての視点における研修は、資料3ページの「管理職のためのICT研修会」、「使ってみようICT研修会」、「ICT活用研修会」、「学校情報管理担当者研修会」です。</p> <p>次に、「特別支援教育」としての視点における研修は、資料3ページの「特別支援教育研修会」、「特別支援教育コーディネーター研修会」、「授業のユニバーサルデザイン化研修会」、「特別支援教育リーダー育成研修会」です。</p> <p>次に、「新たな学びを展開できる教師、教科指導」としての視点における研修は、資料4ページの「各教科等の「生きる力」を育む授業力研修会」にて、積極的にアクティブ・ラーニングを取り入れております。</p> <p>次に、「生徒指導や学級経営」としての視点における研修は、資料3ページの「3年経験者研修会」、「臨時的任用教員研修会」、「生徒指導・教育相談中級研修会」、「スクールカウンセリングマネージャー研修会」です。</p> <p>今後も、授業研究及び専門研修をさらに工夫して実施していくことで、教職員の資質向上を図ってまいります。</p>
事務局	<p>②教員の多忙化対策について報告します。</p> <p>教職員の多忙化問題につきましては、教職員が児童生徒と向き合う時間を確保し、教育活動に専念することや、教職員自身の健康の保持増進のためにも改善を図らなければならない大きな問題であると認識しております。</p> <p>現在、戸田市として取り組んでいること、今後取り組むことについては、次のとおりです。</p> <p>(1) 校務システムの導入・ICT機器の活用</p> <p>出席簿、通知票、指導要録の作成を電子化するなど、校務システムを</p>

電子化したことです。また、ICT機器の導入と積極的な活用を図ること
とで、教材研究の効率化につなげ、負担軽減を図っております。

(2) 在校時間調査の実施（6月、10月）

今年度、6月と10月に全小・中学校において教職員の在校時間調査
を行い、自分の働き方の現状を在校時間からも把握させ、自身の健康保
持や業務の効率化の観点から、適正な勤務時間について意識を高める機
会としました。

また、管理職に対しては、在校時間が80時間以上になっている教職
員に、管理職が一人一人から、負担感が強くなっていないか、健康への
心配はないか丁寧に面談を行い、必要に応じて産業医や健康管理医との
面談を行わせるようにしております。特定の教職員に在校時間が長い現
状も見られますので、そうした場合には、業務の分担を見直すなど、業
務に偏りが起こらないよう配慮することについても指導しております。

(3) ふれあいデーの実施（全校実施）

ふれあいデーについては、昨年度途中からの取組ですが、全県で一斉
に設定されていることもあり、定着しております。どうしても一斉の日
に設定できない場合には、前後で調整し、月1回は確実にふれあいデー
として実施されるようになりました。学校によっては、他にも学校独自
で定時退勤日を設けている学校もあるようです。

(4) 負担軽減検討委員会の設置（今後、設置する予定）

負担軽減検討委員会の設置については、来年度設置できるよう、現在
準備を進めているところです。検討委員会の委員には、学校現場の声も
大切に、負担軽減策について検討してまいりたいと考えております。

(5) 文部科学省地方教育アドバイザー制度の活用

国においても教員の負担軽減は大きな課題となっております。制度の
活用により、子供と触れ合う時間の確保に向けての専門的な助言等を得
ながら、実効性のある対応策を検討してまいります。

	<p>(6) 校長会・教頭会での検討を受けての対応</p> <p>今年度、校長会・教頭会でも教員の負担軽減をテーマとして検討しております。今後、教育委員会への報告・提言を受け、内容を検討し、関係課への働きかけも含め、実現可能な内容から改善を図ってまいります。</p> <p>(7) 民間企業と連携して負担軽減について検討する（予定）</p> <p>民間企業との連携について、具体的な内容は今後協議してまいります。民間企業のノウハウを生かし、学校現場の現状を分析、改善策を検討する予定です。</p> <p>また、資料にはございませんが、戸田市独自で各学校に配置している市費非常勤職員の存在も、教職員の負担軽減に大きな役割を果たしております。配置の目的はそれぞれの職種により異なりますが、大きな目的は児童生徒の支援にあります。市費非常勤職員の配置は児童生徒が安心して過ごせたり学べたりする教育環境に大きな役割を担っております。そのことは、教職員にとっても大きな安心につながっております。</p>
事務局	<p>③学力向上に向けたその後の新しい取組について報告します。</p> <p>資料6ページ～7ページを御覧ください。この資料は、10月1日・2日に実施いたしました学力向上対策会議の資料から、各学校で現在取り組んでいる学力向上を図るための取組について抜粋したものをまとめた表です。</p> <p>さらにキーワードで分類した表として、資料7ページの下段を御覧ください。</p> <p>まず、「アクティブ・ラーニング」「言語活動の充実」「話し合い活動」「協調学習」「問題解決型授業」を授業の中心に据えている学校は、戸二小をはじめとする小学校5校、戸田中をはじめとする中学校6校です。</p> <p>次に、「ICT」をツールとして活用し、授業改善に取り組んでいる学校は、戸一小、戸田中をはじめとする中学校3校です。</p>

	<p>また、ユニバーサルデザインを取り入れた授業づくりに取り組んでいる学校は、笹目小・戸南小です。</p> <p>ベネッセのミライシードを活用し、授業改善に取り組んでいる学校は、喜沢小をはじめとする小学校3校です。</p> <p>全国学調や県学調などの学力調査の分析をもとに、課題を明確にし、その課題を重点的に行っている学校は、戸一小を含めた小学校3校や新曽中です。</p> <p>また、校内研修の充実や算数・数学的活動の充実、学校独自の取組を実施しております。</p> <p>このように、各学校が授業改善を図り、校内研修を活性化する取組が日々行われております。</p> <p>資料8ページを御覧ください。今年度から開始いたしました、小・中学校「土曜ジャンプアップ プラン」事業について御説明いたします。</p> <p>この事業は、市内小・中学校の、学習意欲はあるが、きっかけができていない児童生徒を対象として、土曜日に地域の民間塾講師による学習支援を実施し、学力の向上を図るものです。教科は、算数・数学です。</p> <p>今年度は、11月から2月までの土曜日、8～10回程度、美谷本小学校、笹目小学校の6年生6人と美笹中学校の1～3年生36人に対し、美笹中学校にて実施しております。</p>
事務局	<p>③知のリソースの活用について報告します。</p> <p>資料9ページの子供たちの未来につきましては、冒頭の教育長のあいさつのとおりですので、資料10ページ～11ページを御覧ください。</p> <p>戸田市教育委員会が求める「知のリソース」とは、今後財政が厳しくなっても、できるだけ費用をかけず、他の自治体をもリードする先導的・先進的な教育を推進するため、文部科学省や埼玉県教育委員会、大学や様々な研究機関、民間企業の最先端の知見やマンパワーを教育施策に活</p>

用すること、つまり、産官学民と連携した教育シンクタンクをつくり活用していくことです。

すでに「知のリソース」を活用している教育施策の一部を申し上げますと、まずは、東京大学、青山学院大学、お茶の水女子大学などの大学やベネッセコーポレーションなどの企業と連携した、学校における様々な授業改善があります。

また、文部科学省や国立情報学研究所など国の研究機関と連携した共同研究開発事業や、地域の学習塾による学習支援事業などがあります。

具体的には、「新しい学びの創造」という観点からは、東京大学と連携したいわゆるアクティブ・ラーニングの1つの学習指導法である「協調学習」を全小中学校で導入を開始しました。

また、ベネッセコーポレーションとの包括連携による、ICTを活用した新しい学びの実証研究や国立情報学研究所と連携した「Reading Skill」の共同研究などがあります。

次に、「指導力のある教職員の育成」という観点では、学習塾と連携した若手教員の研修事業や言語研究所の所長による all in English の英語研修、さらには、文部科学省などと連携し、現在、全国的に大きな課題となっている「教員の負担軽減の研究」なども予定しております。

次に、「生徒指導の充実」の観点につきましては、青山学院大学の教育学科や心理学科の教授の指導を受けた、戸田市いじめ対応プログラムを全小中学校で実施し、児童生徒のいじめに対応する力の向上を目指す取組などを行っております。

次に、「新たな教育行政への転換」の観点につきましては、日本の教育経済学の第一人者である慶應義塾大学准教授の直接的な指導を受け、教育政策の費用対効果を統計的に分析・評価したり、客観的な根拠に基づき、選択と集中の観点で教育施策を見直したりする取組も行っていく予定です。

	<p>併せて、文部科学省の職員の方がチームとなって、本市の教育全般に直接アドバイスをいただく取組も最近開始しました。本市の教育上の諸課題を、最先端の広い知見から直接指導を受けられることに、大きな期待をしているところです。</p> <p>最後に、「生涯学習の充実」の観点につきましては、青山学院大学、埼玉大学、目白大学、岐阜女子大学などとの連携により、一層のメニューの多様化や内容の充実等を図り、市民大学や子ども大学の更なる充実を目指していくものです。</p> <p>知のリソースの有効活用により期待される効果として、日々の授業が楽しくわかりやすくなるなど、教員の授業力が向上するものと考えます。そのことにより、児童生徒の学びが主体的になり学習意欲が向上し、21世紀型の学力の一層の向上が期待できます。</p> <p>また、低コストでトライアルを重ねることができ、効果が期待できる施策に集中的に予算や人を投入することで、より効果的な教育活動を進めることができるものと考えております。</p> <p>この他にも、「戸田市の教育を受けてよかった」「戸田市で今後も学び続けたい」と言ってもらえるような多くの効果が期待できるものと考えております。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>資料にはございませんが、英語教育の今後の展望として、中学校卒業段階での英検3級取得者の目標値について、先月の教育委員会で委員から御提案がありましたが、その件について指導課から報告をお願いします。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>先月の教育委員会で、英検3級取得者の目標値70%をお示しいたしましたが、委員から70%と言わず100%を目指したらいかがかという御意見をいただきました。</p> <p>そこで、意気込みも含めまして、目標値は100%といたします。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>以上で報告が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。</p>

委員	教員の資質能力や多忙化対策など、根本的な問題がたくさん提起されましたが、今回全て議論するには時間に限りがあるので、次回以降に時間をとって議論したらいかがでしょうか。
教育長	今の時点で何か御意見ございますでしょうか。
委員	教職員の多忙化問題について、資料にある在校時間調査ですが、調査結果は出ていますか。
事務局	現時点での集計結果ですが、まず対象教職員が小学校368名、中学校199名です。 勤務時間外の在校時間が80時間以上だった教職員は、6月時調査では小学校93名、中学校87名でした。10月時調査では小学校90名、中学校94名でした。これは小学校が約25%、中学校が約47%の教職員に当たります。
委員	もし可能であれば、学校ごとの集計結果を教えてください。また、時期的にも偏りがあるのではないかと思いますので、実態を把握してから対応することが必要だと思います。
事務局	承知いたしました。
委員	昨年度、文部科学省が実施した「教職員の業務実態調査」で、学校現場における71業務について、学校における実施体制や改善策、各教職員の従事状況や負担感などを調査したかと思いますが、全国の傾向・データを教えてください。
委員	時期的なものがあるのかどうか、年間を通してどのような時期に忙しいのかわかれば教えてください。
事務局	中学校では、10月に新人戦があるため、土日も含め、部活動の指導時間が多くなっていたことが理由として挙げられます。
教育長	文部科学省の調査につきましては、次回御報告いたします。この教職員の多忙化問題につきましては、喫緊の課題でありまして、教育委員会

	<p>としても真剣に取り組んでいかなければならないと思っております。</p> <p>次回、TALIS調査（Teaching and Learning International Survey、国際教員指導環境調査：学校の学習環境と教員の勤務環境に焦点を当てた、OECDの国際調査）も含め、精緻な資料にて議論したいと思いますがいかがでしょうか。</p>
各委員	異議なし
教育長	他に何か御意見ございますでしょうか。
委員	<p>教員の資質について、学力向上という点においては様々な研修などあるかと思うのですが、保護者が求めるものというのは、子供一人一人をきちんと見てくれているのか、子供たちを理解して先生方が子供たちの見本となって人間形成に取り組んでいただいているのかが気になります。それは研修だけで習得できるものではないと思うので、学校内で先生方によるケースカンファレンスのような取組があるのか教えてください。</p>
事務局	<p>教頭を中心に校内研修を実施し、先輩教員から若手教員に指導を行っております。また、学年主任を中心とし、チームで取り組んでおります。なお、生徒指導に関しては、中学校は週に1回、小学校は月に1回程度生徒指導委員会等の部会を開催して組織で対応しております。</p>
教育長	<p>続きまして、「報告事項」について申し上げます。本日は、「その他」を含めまして10件の報告がございます。</p> <p>① 平成27年第5回戸田市議会定例会（12月）教育関連一般質問 件名・概要について</p> <p>② 「第3次戸田市教育振興計画（案）」のパブリックコメントの募集について</p> <p>③ 平成28年度中学校学校選択制に係る抽選結果について</p> <p>④ 平成27年度第62回埼玉県歯科保健コンクール審査結果について</p> <p>⑤ 戸田市児童生徒作品展について</p>

	<p>⑥ 戸田市算数・数学フェスティバルについて</p> <p>⑦ 平成27年度文化財保護訓練・防火点検の実施について</p> <p>⑧ 平成28年度戸田市立図書館の蔵書点検に伴う特別整理期間について</p> <p>⑨ 第16回昔のくらし展の開催について</p> <p>⑩ その他</p> <p>詳細につきまして、各所属長より報告いたします。なお、御質問につきましては、すべての報告が終了したのちに伺います。</p>
<p>事務局</p>	<p>①平成27年第5回戸田市議会定例会(12月)教育関連一般質問 件名・概要について報告します。5名の議員から教育関連の質問がございました。答弁概要は次のとおりです。件名の番号につきましては、質問の通告の番号です。</p> <p>熊木照明議員(志政クラブ)</p> <p>1 教育行政について</p> <p>(1)不登校について</p> <p>①本市の現状、②安否確認について、③教育相談体制について</p> <p>答弁概要：</p> <p>(1)①平成26年度の不登校児童生徒の数は、小学校17名、中学校89名、平成25年度は、小学校13名、中学校78名</p> <p>②文部科学省通知による8月の調査及び市独自の11月の調査において、安否確認のとれない児童生徒はいなかった。欠席の児童生徒は学校で状況把握している。</p> <p>③全中学校に設置しているさわやか相談室、各学校で定期的に行っている教育相談部会、教育センター配置の教育心理専門員やスクールソーシャルワーカーなどによる相談などで対応している。</p>

竹内正明議員（公明党）

1 教育行政について

(1) 知のリソースとは

(2) 「知のリソース」を活用している教育施策について

(3) 今後実施予定の教育施策について

答弁概要：

「知のリソース」とは、産官学民と連携した教育シンクタンクをつくり、教育施策に活用していくことである。具体的には、東京大学やベネッセコーポレーションなどと連携した授業改善、国立情報学研究所と連携した共同研究、地域の学習塾と連携した学習支援事業など。

3 図書館での「読書通帳」の導入について

(1) 「読書通帳」導入の取組の現状について

(2) 市制50周年にあわせて導入したらどうか

答弁概要：

他市の取組を情報収集し、手書きで記録する形の読書通帳を市制50周年にあわせて導入する準備をしている。

三輪なお子議員（公明党）

1 防災対策について

(1) 地域の防災力を高める取組について

② 今後の防災訓練の充実について

(イ) 小・中学校の運動会・体育祭で防災関連の競技を入れたらどうか

答弁概要：

運動会・体育祭の競技は、各学校で創意工夫をして決めているので、校

	<p>長会等で諮っていく。</p> <p>石川清明議員（公明党）</p> <p>1 公立小・中学校の消防設備点検について</p> <p>(1)実施状況について</p> <p>(2)点検結果について</p> <p>(3)消防の立入検査の結果と今後の対応について</p> <p>答弁概要：</p> <p>(1)消防法により義務付けられており、点検は毎年実施し、報告は3年毎にしている。</p> <p>(2)調査修繕を要するものとして多くの学校で指摘された事項は、屋内消火栓のホース交換、自動火災報知機の不具合、防火扉の閉鎖不全、消火器の交換など。</p> <p>(3)指摘事項として、設備以外では、消防訓練、防火管理者の選任、避難通路の確保など。これらについては、学校に対して改善指示を出した。設備については、優先順位を決め、適切に対応していく。</p> <p>真木大輔議員（戸田の会）</p> <p>1 建築基準法に基づく建築点検について</p> <p>(1)学校施設を含む公共施設の実施状況について</p> <p>答弁概要：</p> <p>(1)小・中学校は法による義務付けがないので、点検はしていない。給食用エレベーターは、法による報告義務があり、専門業者による毎月の点検及び年1回の報告を実施している。文部科学省から点検義務のない学校も点検してほしい旨の通知があり、検討していく。</p>
事務局	②「第3次戸田市教育振興計画（案）」のパブリックコメントの募集に

ついて報告します。

第2次戸田市教育振興計画が平成27年度をもって計画期間が終了することから、第3次戸田市教育振興計画の策定作業を進めてまいりました。このほど、検討委員会を経て審議会で慎重審議していただき、計画案がまとまりましたことから、平成28年1月4日月曜日から2月2日火曜日までの間、パブリックコメントを実施し、広く御意見を募集するものです。

第3次戸田市教育振興計画について概要版にて説明いたします。

2ページをお開き下さい。計画策定の趣旨ですが、グローバル化や情報化の進展などにより、世界全体が急速に変化する中、教育分野においても、一人一人の「生きる力」を確実に伸ばす取組として、戸田市教育振興計画を策定するものです。

次に、計画の位置づけです。本計画は、教育基本法に基づき策定するわけですが、国や埼玉県に関連計画や戸田市第4次総合振興計画を基盤とし、市の教育関連の計画と整合を図りつつ策定いたします。

次に、3ページ、計画の期間・対象です。本計画の期間は、平成28年度から平成32年度の5年間とします。対象は、学校教育を中心としつつ、すべての年齢層を対象とします。

次に、計画策定体制です。庁内の副主幹・主幹級の検討委員会、課長級の推進委員会の意見を伺い、その後、学識経験者や市民等で構成する「戸田市教育振興計画審議会」で慎重審議していただきものでございます。パブリックコメントで意見を頂いた場合は、検討委員会、審議会を経て最終的に教育委員会で決定する予定です。

4ページをお開き下さい。計画の基本理念とキャッチフレーズです。

第2次戸田市教育振興計画の「生き生きと 共に育む 教育のまち戸田」の基本理念は広く浸透し親しまれていることから継続することとしました。新たに、キャッチフレーズとして「とだっ子 やり抜く力で

	<p>未来に夢を」を制定しました。21世紀を生きていく上では、様々な問題や課題があります。それに対して自分で解決策を見出し、そして、やり抜く力を身に付けて、未来に夢と希望を抱けるような「とだっ子」に育ってほしいとの思いを込めました。</p> <p>次に、基本目標です。基本目標1は「やり抜く力を育む教育を推進する」、副題は「確かな学力と生徒指導の充実を図る」です。基本目標2は「よりよい教育環境を整備する」、副題は「産官学民及び家庭・地域と連携し、知のリソースの活用を図る」です。本市では、この副題にあるように、知のリソースを活用し、学力の向上と教育環境を充実させていきたいと考えております。</p> <p>次に、4ページ、目指す児童生徒像です。希望を持ち、思いやり、未来を拓くため、最後までやり抜く児童生徒を育成してまいります。</p> <p>次に、6ページ、7ページ、施策の体系です。2つの基本目標、11の施策の方向、28の施策、そして、主な取組となっております。</p> <p>最後に、8ページ、本計画の推進に向けて、関係各課で構成する推進委員会を設置し、PDCAサイクルに沿って進捗管理を行ってまいります。</p>
事務局	<p>③平成28年度中学校学校選択制に係る抽選結果について報告します。</p> <p>前回の教育委員会定例会にて報告いたしましたとおり、中学校選択制に係る入学希望校の申し込み数が確定いたしました。その結果、定員数を超えた戸田中学校につきまして、11月21日（土）、公開抽選会を戸田市役所にて実施いたしました。</p> <p>戸田中学校入学希望者は50名おりましたが、当日の欠席者もあり、最終的に47名で抽選を行いました。抽選結果により、30名の方にはその場で戸田中学校への入学手続をしていただきました。なお、抽選に漏れた方17名全員が補欠希望の申請をしております。</p>

	<p>この結果をもとに、1月中旬に入学通知を各家庭に発送いたします。 補欠者の繰り上げは、最終的に2月19日まで行います。</p>
事務局	<p>④平成27年度第62回埼玉県歯科保健コンクール審査結果について報告します。</p> <p>本表彰は、学校歯科保健を推進するために、歯科保健活動における優秀な学校を毎年表彰するものです。今年度は、美女木小学校、戸田東小学校、喜沢中学校が入選校として、喜沢小学校が年間努力校として、戸田東中学校がPTA活動優秀校として選ばれました。</p>
事務局	<p>⑤戸田市児童生徒作品展について報告します。</p> <p>今年度の児童生徒作品展は、去る11月14日（土）、15日（日）の2日間にわたり戸田南小学校で開催されました。</p> <p>今年度の出品数は、合計1,886点でした。参加者数は、小中学校児童生徒合わせて1,777人、保護者2,288人、教職員等と合わせて合計4,177人となり、2日間とも雨天での実施となりましたが過去最多を記録しました。</p>
事務局	<p>⑥戸田市算数・数学フェスティバルについて報告します。</p> <p>去る11月28日（土）に戸田南小学校において戸田市算数・数学フェスティバルを実施いたしました。</p> <p>午前中に数学コンテスト、午後に算数・数学おもしろ教室を実施しました。総参加者数は418名で、昨年度と比べおよそ40名参加者が増加いたしました。また、市内の教員や市の非常勤職員である中学校学習支援サポーター、埼玉大学教育学部学生が運営に当たりました。資料8ページの写真は当日の様子です。</p> <p>なお、当日出題しました問題は、別添資料となっておりますので後程御確認ください。今後、市のホームページにも掲載いたします。</p>
事務局	<p>⑦平成27年度文化財保護訓練・防火点検の実施について報告します。</p>

	<p>第62回文化財防火デーに関連して、市指定文化財を火災から保護することを目的とし、平成28年1月26日（火）の午前中に「文化財保護訓練」を行います。また、午後には市内の3寺社において「防火設備等」の点検及び文化財の保管状況の調査も行います。</p> <p>昨年度は笹目6丁目の「笹目神社」において実施いたしましたが、今年度は市指定の天然記念物「うばゆり」がある美女木7丁目の「美女木八幡社」において、火災が発生したことを想定し、火災発生時の初動体制の確認、消火活動、文化財の搬出等の訓練を行います。</p> <p>参加機関は、戸田市消防本部・消防署、消防団、美女木八幡社関係者などです。教育委員会からは文化財保護事業を担当します生涯学習課から私も含めて3名が参加し、約60名の規模で実施いたします。</p> <p>訓練は、資料9ページに記載のとおりですが、生涯学習課は文化財搬出訓練時に搬出された文化財の確認及び管理の訓練を行います。</p> <p>また、「防火点検」では、生涯学習課と消防本部予防課が市内の寺社を輪番でめぐり、平等寺、新曾氷川神社、多福院の3社で点検を実施いたします。</p>
事務局	<p>⑧平成28年度戸田市立図書館の蔵書点検に伴う特別整理期間について報告します。</p> <p>戸田市立図書館条例第6条第5号の規定に基づき、図書館本館、分館及び分室の蔵書点検のため、毎年1回15日以内の休館日を設けるものです。この休館期間は、郷土博物館にも及ぶものです。</p> <p>例年、本館では上半期終了直後の10月上旬の6日間（今年度は10/5～10/10）を特別整理期間に充てていますが、平成28年度は10月1日の市制施行50周年に合わせ、郷土博物館の企画展を開催する予定であるため、半月早めて9月12日（月）から同月17日（土）までとするものです。分館、分室については、資料記載のとおり2日から3日の期間で休館します。</p>

<p>事務局</p>	<p>⑨第16回昔の暮らし展の開催について報告します。</p> <p>この企画展は、毎年ほぼ同じ時期に開催しているもので、今回で16回目になります。</p> <p>開催趣旨は、今の子供たちに昭和初期から高度成長期頃までの主として家財道具や家庭用品を見てもらい、同時に説明文を読むことで当時の世相や風俗を知ってもらい、現代社会の変遷を学んでもらおうというものです。</p> <p>開催期間は、平成28年1月16日（土）から同年3月6日（日）までの47日間とし、毎年この期間中博物館授業として市内全ての小学3年生が見学学習を行っております。展示会場は、戸田市立郷土博物館3階特別展示室で、入場無料です。</p> <p>展示構成その他企画展開催に係る事項につきましては、資料記載のとおりです。</p>
<p>教育長</p>	<p>次に⑩ その他ですが、事務局より何かございますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>指導課から2点報告いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども議会会議録について <p>「平成27年度戸田市子ども議会」の会議録が出来上がりましたので委員の皆様へ配付いたします。児童生徒が「魅力的なまちづくり」のために、様々な角度から市長に質問した様子が掲載されております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習状況調査日程について <p>平成28年度埼玉県学力・学習状況等調査についてですが、4月14日（木）に実施されます。対象学年は小学校4年生から中学校3年生となっております。</p> <p>また、平成28年度全国学力・学習状況調査は、4月19日（火）に実施されます。対象学年は、小学校6年生、中学校3年生で教科は国語、</p>

	算数・数学です。戸田市は、これまで両方の調査に参加してきておりますので、来年度も参加してまいります。
教 育 長	以上で、「報告事項」が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。
委 員	報告事項②の教育振興計画について、目指す児童生徒像が図で表されていますが、アクティブ・ラーニングを推進していくわけですから、確かな学力のところに、「協働的」や「協調的」などの文言を加えたほうがよいのではないのでしょうか。 パブリックコメントで寄せられた意見の反映を審議会等で検討する際にこの点も検討していただきたいと思います。
教 育 長	担当課で検討し、次回の教育委員会で報告してください。
事 務 局	承知いたしました。
委 員	ひとつお願いなのですが、事務局で結論が出ていないことでも策定段階で説明していただいて、教育委員会で議論しながら結論を出せたらよいと思うので、よろしくお願いします。
教 育 長	大変大事な御指摘だと思いますので、各課において早目に準備をお願いします。
委 員	報告事項①の石川議員の一般質問の消防設備点検に関連して、最近、横浜の小学校の防火シャッターのワイヤーが切れた事故が発生したと報道がありました。戸田市ではこのようなタイプの防火シャッターはあるのでしょうか。
事 務 局	電動のものであったり、防火扉であったり、学校によって設備が違うため、詳細は次回の教育委員会で御報告いたします。 消防設備につきましては、毎年点検を行い、不具合があったものについては、必ず修繕を行っております。

<p>教 育 長</p>	<p>それでは、他に質問等が無いようですので、次に議事に入ります。「議案第48号 平成27年度特別支援教育推進計画について」を事務局より説明願います。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>指導課では、これまで特別支援学級の新設・通級指導教室の増設につきまして検討してまいりました。</p> <p>特別支援学級につきましては来年度、喜沢小学校に知的学級1学級を新設したいと考えております。自閉症・情緒学級は検討中でございます。</p> <p>新設の理由といたしましては、事前アンケート及び学校での就学相談において入級希望があるためです。</p> <p>また、このことによる通学区域の変更については、資料の通学区域一覧変更案を御覧ください。喜沢小学校の新設に伴い、現在東部地区はすべて戸田第二小学校の特別支援学級への通学となっておりますが、戸二小の特別支援学級へは、戸二小学区と戸東小学区の一部（下前1丁目）を考えております。喜沢小の特別支援学級へは、喜沢小学区と下前1丁目を除く戸東小学区を考えております。</p> <p>この理由として、下前1丁目から、もし喜沢小に通うとなりますと、戸二小学区を通過して通うこととなります。検討を重ねた結果、戸東小学区のうち、下前1丁目のみ戸二小通学区という結論に至りました。</p> <p>それでは、喜沢小学校の特別支援学校の知的学級1学級の新設及びそれに伴う通学区域の変更につきまして、御審議をよろしく願います。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>以上で説明が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>それでは、質問等がないようですので、打ち切ります。議案第48号は、提案内容のとおり議決することに御異議ございませんか。</p>
<p>各 委 員</p>	<p>異議なし</p>

教 育 長	異議なしと認め、議案第48号は提案内容のとおり議決いたします。
教 育 長	次に、次第の6 その他の「次回の教育委員会の日程(案)」について、事務局より説明願います。
事 務 局	次回教育委員会定例会の日程ですが、1月28日(木)午前9時30分からの開催について、お伺いいたします。
教 育 長	それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局(案)のとおりでよろしいでしょうか。
各 委 員	了承
教 育 長	それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局(案)のとおり決定いたします。次に、その他ですが、事務局から何かございますか。
事 務 局	特になし
教 育 長	委員から何かございますか。
委 員	特になし
教 育 長	それでは、本日の案件等すべて終了いたしましたので、以上をもちまして、本日の教育委員会定例会を閉会いたします。